

船舶インシデント調査報告書

令和2年1月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和元年8月3日 00時30分ごろ
発生場所	大分県佐伯市 ^{さいき} 高手島 ^{たかて} 東方沖 豊後大島港西防波堤灯台から真方位003° 1,800m付近 （概位 北緯32° 59.0′ 東経132° 04.4′）
インシデントの概要	プレジャーボート ^{げっこう} 月光は、漂流中、クラッチを前進位置に入れたところ、船外機が停止し、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和元年8月14日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 月光、5トン未満（長さ5.9m）
船舶番号、船舶所有者等	294-14217大分、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風速 約2m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5m
インシデントの経過等	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、漂流中、船外機を始動してクラッチを前進位置に入れたところ、船外機が停止し、運航不能となり、船長が海上保安庁に救助を要請し、巡視艇に^{えい}航されて佐伯市^{いろみや}色宮漁港に入港した。</p> <p>船外機は、本インシデント後、機関整備業者が点検したところ、アイドリング状態での回転数が低いことが分かり、同回転数が調整された。</p> <p>船外機のアイドリング状態での回転数毎分（rpm）は、本インシデント前が約500rpm、調整後が約600rpmであった。</p> <p>本船は、平成31年2月初旬まで長期にわたって陸上保管されており、令和元年5月初旬以降も使用されていなかった。</p>
分析	本船は、漂流中、船外機を始動してクラッチを前進位置に入れたものの、船外機のアイドリング状態での回転数が低かったことから、船外機が停止して運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、夜間、本船が漂流中、船外機を始動してクラッチを前進位置に入れたものの、船外機のアイドリング状態での回転数が低かったため、船外機が停止したことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

られる。

- ・ 船長は、船外機の始動時の状態に違和感がある場合、機関整備業者等による点検を行った上で使用することが望ましい。